

平成 25 年 10 月 21 日

蕨市長 頼高 英雄 様

蕨市の行政運営に係る
長期計画審議会

会長 林大樹

蕨市将来構想の策定について（答申）

平成 25 年 4 月 22 日付蕨第 250422 号をもって諮問された蕨市将来構想の策定について、本審議会では 7 回にわたり活発な意見交換を行いながら、慎重な審議を重ねてきました。

審議の結果、示された蕨市将来構想（素案）は、協働を基調としたまちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」を掲げ、今後 10 年間で展望した蕨市の将来像「安心とにぎわい みんなにあたたかい 日本一のコンパクトシティ蕨」に向けて、都市形成の課題を的確に捉え、まちづくりの基本方向や基本目標など、市政運営の基本的な方向を示しており、その内容はおおむね妥当であると認めます。

なお、審議の過程で議論された《蕨市将来構想の実現に向けた主な意見》を、別添のとおり取りまとめましたので、十分配慮されるよう求めます。

あわせて、《分野別計画等の策定に向けた主な意見》を添付します。

【別添】

《蕨市将来構想の実現に向けた主な意見》

- ①蕨市は、全国で最も面積が小さく、かつ人口密度が高い、コンパクトな市である。この特徴を活かし、住みやすく活力のあるまちを目指して、取り組みを進めていくことが大切である。
- ②蕨市は、市域がコンパクトであることから住宅が密集している。このため、防災上の課題の解決等に努め、安全で安心なまちとなるよう、取り組みを進めていくことが重要である。
- ③市町村の基本構想策定義務が自治法上撤廃された中、自主自立の計画づくりとまちづくりが重要さを増している。このため、将来の人口動向を見据え、市の財政状況を踏まえつつ、取り組みを進めていくことが大切である。
- ④現行計画の重点プログラムで設定した指標のなかには、達成されていない項目もあることから、将来構想の実現にあたっては、進捗管理に努め、着実に取り組みを推進していくことが重要である。

《分野別計画等の策定に向けた主な意見》

- ①人口が集中している状態を利点として活かすにあたっては、狭隘道路など、防災上の問題箇所の改善を織り込む必要がある。
- ②子どもたちが自信を持って将来に向かって歩めるよう、「自己肯定感」を育むことが重要である。
- ③いつまでも元気でいられるよう、市民自身が健康づくりを実践できる機会を設けていくことが重要である。
- ④蕨駅西口のみならず東口も含め、今後とも商店街の活性化に努めていく必要がある。
- ⑤蕨駅周辺まちづくりは重要な課題と考えられるため、早期の事業実現を目指して、具体的な検討を進めることが大切である。

- ⑥蕨市は県内で最も外国人の割合が多く、人口の約5%に達しているので、そのことを踏まえた記述が必要である。
- ⑦市政に対する提言について、市は責任を持って検討し、回答することが大切で、そういった仕組みについての記述が必要である。
- ⑧日頃市民と接している窓口の担当職員や、若手職員などの意見を、積極的に取り上げ、活かす心構えが必要である。
- ⑨公共施設の整備については、ライフサイクルコストの考え方を踏まえる必要がある。
- ⑩平易な表現を心がけ、用語解説等について工夫しながら編集し、市民にとって分かりやすい計画書となるよう配慮することが重要である。